

● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
社 会 ・ 福 祉		
免許返納問題で生まれる新たなモビリティ・マーケット 移動貧困社会からの脱却	楠田悦子(編著)	時事通信社
ま ち づ くり		
新型コロナとまちづくり リスク管理型エリアマネジメント戦略	足立基浩	晃洋書房
自 治 ・ 行 政		
自治・分権と地域行政	今川晃(編著) 牛山久仁彦(編著)	芦書房
そ の 他		
新明解国語辞典 第八版 青版	山田忠雄(編) 倉持保男(編)ほか	三省堂
逐条国会法 第4巻	昭和54年3月 衆議院事務局(編)	信山社
逐条国会法 第5巻	昭和54年3月 衆議院事務局(編)	信山社
公民連携白書 2020～2021 アフターコロナとPPP	東洋大学PPP研究セン ター(編著)	時事通信社

バイクに乗って



最近、暖かい日が続き、原付バイク通勤の私には、とてもありがたいことです。これからの季節は原付バイクに乗り、少し足を伸ばして、河西緩衝緑地でのんびり過ごしたり、西庄ふれあいの郷ハーブ園でラベンダー畑を見たり、いろいろお気に入りの場所探しに思いめぐらせています。目的地に行く途中にも、春を感じる花が咲いていた、新しい道を発見したりする楽しみもあり、小回りの利く原付バイクはとても便利です。

そんな原付バイクを含むオートバイ・スクーターですが、総務省が5年ごとに実施している全国消費実態調査によると、和歌山県は、2人以上の世帯がオートバイ、スクーターを1台以上所有している比率を示す普及率が、平成元年から平成26年までの過去6回、全ての年で全国1位だったということです。(昨年の調査より、全国家計構造調査と名前が変わり、オートバイ・スクーターの項目はなくなりました。)

なぜ、こんなにも和歌山での普及率がよいのか分かりませんが、きっと雪も少なく、温暖な気候のお陰で、車よりバイクが好まれてきたのかも知れませんね。

二輪車は法律上、自動二輪車と50cc以下の原動機付自転車に分けられます。オートバイは、二輪の自動車の総称のことで、スクーターはオートバイの一種です。オートバイは、クラッチ、変速機を経てチェーンで後輪を駆動させて動くのが一般的ですが、スクーターの多くは、自動変速機で、操縦も容易にできます。また、車輪の直径を小さくして足を揃え、腰掛けて乗れるようにするなど、手軽に利用できる、重宝する乗り物です。



これから更に暖かくなりますね。心地よい風に吹かれながら、のんびり観光気分、原付バイクに乗り、いろいろな発見を楽しんでみたいと思います。



※参考資料:総務省全国消費実態調査(産経デジタル)、日本大百科全書
一般財団法人自動車検査登録情報協会